

課題番号4

課題名 【重点課題2】新規就農者・企業の確保育成 大阪産スタートアカデミー等による新規就農者の確保育成に向けた栽培技術・経営管理能力の向上	
対象： 新規就農者	計画期間 R4～R8 事務所名 泉州農と緑の総合事務所
普及課題	活動方法
○実践研修で学ぶことができる研修プログラムにより栽培技術や経営管理能力の育成・向上	○実践研修で学ぶことができる研修プログラムとして、大阪産(もん)スタートアカデミー(水なす+きくなアカデミー(第3期)、有機農産物アカデミー(第2期))を実施。
活動成果 ・新規就農者数 目標: 15名(R4～R8年累計) 実績: 1名(R4)、5名(R5)、4名(R6見込み)	

総合評価 (コメント)
<p>A : 3名 B : 2名</p> <p>■指摘されているように、指導農家の確保・負担軽減が課題であり、場合によっては地域を越えた発掘・確保が必要と思われる。</p> <p>■全体的に課題抽出から目標設定、活動と現状認識は申し分ないが、大阪府下でも農業が盛んで成功者も多い地域なので、その地の利を生かしているとはいえ、もっと高い目標設定でもよいのではないかと感じる。活動自体は評価できるので、引き続き更なる躍進を期待したい。</p> <p>■これも他の事務所と共通するが、農家が減っていくなか、指導農家をどう確保するかが課題になる。既にされているかと思うが、高齢などで営農を辞めた人を講師として雇用するなど一手かと思った。あと、当初の販売額が年3～400万円程度では生活を立てられるのか不安が先立ち、専業農家育成のなかでも、当初は副業的に始めるなど間口の拡大は必要かと思う。</p> <p>■水なす・きくなの販売路があることは新規就農者にはありがたいことだと思う。</p>

評価 A: おおむね適切である。 B: 部分的に検討が必要である。 C: 見直しが必要である。